

感染状況・医療提供体制の分析(6月8日時点)

【岡山県専門家有志】

(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計			前回の数値 (6月1日時点)	現在の数値 (6月8日時点)	前回との比較	分析コメント			
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	2730人 (145.4人)	1882人 (100.3人)	→	感染状況 コメント	レベル4. 感染縮小の兆候があるが特別な警戒が必要			
		60歳以上 (総数に占める割合)	287人 (11%)	198人 (11%)	→					
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	1288人	931人	→	新規陽性者は <u>人口10万人当たり100人</u> と減少。年代別の新規陽性者数は、全ての年代において減少。但し、クラスターは散発的に発生している。陽性者数は今後も減少が予想されるが、ワクチン3回目接種で獲得した免疫は徐々に減少していくこと、梅雨時期となり室内での活動が増加することからも、メリハリのある感染対策継続を。特に、高齢者や基礎疾患のある方への感染を防ぐ対策の実施は必須。				
		県南西部	1077人	664人	→					
		高梁・新見	18人	33人	→					
		真庭	18人	22人	→					
		津山・英田	327人	232人	→					
	市中潜在・ ③新規陽性者 における 接触歴不明者	数	882人 (調査中を除く)	607人 (調査中を除く)	→					
		割合 (③/①)	39.2% (調査中を除く)	40.8% (調査中を除く)	→					
医療提供体制	④入院患者数 (確保病床における入院割合)		100人 (18%)	79人 (14%)	→	医療提供 体制コメント	レベル1. 通常の体制で対応可能と思われる			
	⑤宿泊療養者数		72人	62人	→	感染者数減少に伴い、入院患者、宿泊・自宅療養者数は減少。通常医療が提供可能な体制が維持できている。				
	⑥自宅療養者数		3113人	2013人	→					
	⑦重症者数		2人	1人	→					